

現在の日本経済の状況を考えるうえで歴史的ヒントとなる資料集。

# 昭和恐慌下 の 日本経済

全5巻

武田 晴人 編・解説

クレス出版



浜口雄幸の緊縮内閣成立

東京大学 武田晴人

一九九〇年代初頭のバブル崩壊以来、長期の不況に陥り「経済成長」路線への転換が模索されるなかで、歴史の中にそのヒントを求めようと、昭和初期の経済状態を探究する試みが、さまざまな形で行われている。そうした研究上の関心を踏まえながら、改めて昭和恐慌の実態について、掘り下げた検討の素材を提供しようというのが本資料集の刊行の狙いである。

現代の昭和恐慌期への関心が、恐慌からの脱出過程での政策展開、とくに高橋是清大蔵大臣の有効需要創出効果を持ったとされる財政政策や、これと関連した国債管理と日本銀行引き受け、さらには低金利政策などに注目しているのに対して、ここでは、ここで見逃されている側面に関心を向けたいと考えている。具体的には、恐慌の実態について、当時の人々がそれぞれの立場でどのように捉えていたのか、そして、それはどのような現実に基づいていたのか、ということである。

そのような目的から、本資料集では、第一に昭和恐慌を世界恐慌のなかで捉えるために、国内外（国際連盟、三菱経済研究所）の研究機関が世界恐慌の発生をどのように捉えていたのか、第二に国内の恐慌状態について財界の有力機関（日本経済連盟会、日本工業倶楽部、東京手形交換所）や政党（恐慌発生時の野党である政友会）がどのように捉えていたのか、を示す。第三にホワイトカラー、農民などの社会階層に則した実態についてのドキュメントを収録する。さらに第四に、国際的な景気後退を国内に伝播する上で決定的であった蚕糸業の恐慌状態とこれへの対策に関する同時進行の調査報告、そして最後に、生糸恐慌を起点として深刻化した農村不況、農業恐慌の実態と地方でのそれぞれの対策についての記録をまとめる。

農業恐慌に関わる研究は、かつて十五年戦争へ至る道筋を考える上で重要な研究課題であったが、高橋財政の「成功」に関わる議論に押されて、最近の昭和恐慌研究では後景に退いている。しかし、景気対策としての高橋財政が現代の政策課題にも示唆に富むとしても、この景気回復政策が置き去りにした農村の悲惨な現実を政策展開の結果として見逃すわけにはいかない。これらの問題が合わせて検討されて初めて、金解禁政策への転換から昭和恐慌、そしてそこから脱出の歴史過程ははじめてその全容を理解することができるはずであろう。この資料集が、そのような歴史認識の前進に寄与することを心から期待したい。

第六章 不況の再分析

A 不況の性質

現下の世界的不況の本質的特徴は機構上の変化及び不調整が経済的状態を極めて不安定ならしめてゐた時に景気循環の下降が起つたことである。右の不安定の種々な異つた局面は前記第一章及び第二章で論じた處であつて、その凡てに再び論及する必要はない。尤も右の不安定を助長してゐた或種の傾向が不況の始まつてからも執拗に續いたことを強調することは大切である。右傾向の要求した適合は遂行せられなかつた。其の原因は、一部分は變化しつゝある需要に生産を適合せしめる爲めの新規資本を投すべき刺戟をすらも右の不況が妨止したにあり、又一部分は、關稅率が一般に引上げられたにあつた。斯やうにして例へば、穀物に對する輸入税の法外の引上げ及び國內物價を保護する爲めの其他の手段は、農業生産を現在のままで維持する傾向があつた。米國、カナダ及び多くの他

参考資料報告 (昭和七年三月三十日調査)

財界不況ノ象徴原因及對策ニ就テ

昨年未我國ノ象徴原因及對策ニ就テ  
ノ對策ニ努力中ナリレバ、今や多少ノ及動ヲ見稍ミ由律狀  
態ニ在リト雖モ、今後引續キ收斂ニ好転スルヤ否ヤハ我財界ガ今  
一段ノ整理ヲ為セシムニ於テ極メテ見得ベキトナリ、殊ニ裁減  
一財政ハ財界不況及映ノ結果トシテ本年ハ可ナリノ難關ニ遭  
過セザル可ラザルモノト豫期セラルル、而シテ斯ク深刻ナル不況ハ  
如何ニ象徴セラル、如何ナル原因ニ基キシテ且之ニ對シ如何ナル對策  
カ講セザレツ、アルヤ少ナク追テ之ヲ研究セン

日本銀行ノ調査ニ依ル大正三年七月ヲ基準トスル東京ニ於ケル  
卸賣物價指數ニ依レバ、昨年十一月ニ於テハ二七・八ニシテ、  
前年同月ニ比シ約二割ニ分、前年一月ニ比スレバ約三割ノ、

第1巻 世界恐慌

世界経済不況の過程並びに様相  
●国際連盟事務局東京支局/昭和7年  
〔内容〕 現下の不況に至る戦後の経済的發展の鳥瞰、不況前数年間に於ける機構上の變化と調整の不完全、最近十ヶ年間に於ける景気循環傾向、今日の景気循環の様相、不況の説明と分析、不況の再分析、従前の不況との比較、一九三一年夏に於ける状態  
世界経済不況ノ現状及對策  
●財団法人三菱経済研究所/昭和7年  
〔内容〕 世界経済不況概観、各国ニ於ケル不況ノ現状及對策、各種産業不況對策

第2巻 財界不況と対策

最近財界不況の事情並に之が原因と対策  
●日本経済連盟会・日本工業倶楽部/昭和6年  
〔内容〕 一般財界の現状並に對策、産業各部門の現状並に對策  
財界不況ノ象徴、原因及對策ニ就テ  
●東京手形交換所/昭和6年  
恐慌打開策としての「購買力補給案」  
●谷口吉彦著/昭和7年/京都大学経済学部  
〔内容〕 統制経済と恐慌對策、「購買力補給案」の理論的根拠、特質、具体的方法、効果、農村救済策としての「購買力補給案」  
浜口内閣の不況及失業對策と地方財政  
●立憲政友会会報局/昭和6年  
〔内容〕 失業者累増の概況、政府の不況並失業對策、對策の批判、政府の緊縮非募債政策と地方財政との關係

第3巻 恐慌の諸相(1)

サラリーマン恐怖時代  
●青野季吉著/昭和5年/先進社  
〔内容〕 サラリーマンの恐怖時代、サラリーマンの解剖、サラリーマンと資本主義、サラリーマンと社会主義、サラリーマン解放  
窮乏の農村  
●猪俣津南雄著/昭和9年/改造社  
〔内容〕 窮乏のさまざまな型(養蚕農村、米作農村、多角形農業の村、工場のある農村、山村と漁村、借金の重圧)、農民から見た農村對策(更生運動の実績、更生計画を立てた村々、産業組合と貧農大衆、米穀統制法の效力、救済工事の実相)、農民の喘ぎ求めるもの(没落の中農層、地主の状態、不在地主と土地集中、土地飢饉の出現、零細農小作と地主的土地所有、守勢の側、攻勢の側、農民運動の前途)

第4巻 恐慌の諸相(2)

生糸恐慌對策史 附生糸貿易史年表  
●森本宋著/昭和6年/横浜貿易新報社  
〔内容〕 蚕糸救済、糸価補助法の発動、對策批判  
一九三〇年生糸恐慌  
●井上鑑三著/昭和6年/森山書店  
〔内容〕 合衆国恐慌と生糸消費、生糸恐慌の発生、合衆国恐慌の尖鋭化、生糸恐慌の推進、生糸恐慌の犠牲

第5巻 農村不況の実態

農村不況ト有蓄農業  
●農林省畜産局畜産課/昭和6年  
〔内容〕 調査ノ概要、各地方ニ於ケル実績  
農村不況に関する参考資料  
●協同会農村課/昭和7年  
農村不況に関する諸問題  
●財団法人協同会農村課/昭和6年  
〔内容〕 農村不況に就いて(松村勝治郎)、農業金融並に農家負債整理に関する諸問題(勝間田清一)、農民組合の農村窮乏打破運動の實際(下河部良佐)、農村不況と小作争議(山本巖)、農村不況と教育問題(高橋雅介)、農村不況の産業組合に及ぼせる影響(斎藤栄一)、独逸農政の危機(宮本倫彦)、チエッコスロバキアに於ける経済恐慌の農業に及ぼせる影響(勝間田清一訳)、農村不況問題文獻資料  
不況打開と農業經營の改善  
●帝國農會/昭和6年  
〔内容〕 農業經營とは何ぞや、經營と生産技術、農業經營改善の実益は何か、農村不況打開と經營改善の陣立、自給主義の農業經營とは何か  
関東農村の不況状況調査  
●帝國農會調査部/昭和5年  
農村不況と農家の諸負担実情調査  
●愛知實業會/昭和6年  
農村不況実態調査  
●静岡農會/昭和7年  
農村不況実情調査  
●長野農會/昭和7年  
長野県の不況実情  
●長野県内務部農商課/昭和7年  
〔内容〕 公租公課等、負債、農産物等、蚕糸業、農家經濟、小作、金融、産業組合、教育、畜産、水産、醸造其ノ他商工業、失業者及社会事業、三市ニ於ケル商工業ニ関スル調査  
不況時に於ける 農林業經營事例  
●富山県/昭和6年  
〔内容〕 只管稲作研究に没頭(永井小太郎)、恵まれた家庭に生立ち(種田美則)、地方蔬菜の先駆を目指して(平野作次郎)、自ら百姓高等官を以て任ず(片山清光)、南礪に於ける多角形經營(法邑孫八)、蔬菜苗の売上年六百元(貫江豊次郎)、農業は趣味である娯樂である(山本栄作)、安い山畑に切花を栽培しつゝ(畠山松次郎)、土に親しみつゝ、地方開發を念じて(茶木助次)、成功を齎した農業經營(岩脇善右衛門)、稼ぐ者には不況がない(浦上伊三三)、耕作実在に十一町歩余(天辻恒次郎)、養豚を加味した経営振り(宮崎佐市郎)、米を作らざるも豚と蔬菜を主として(土居喜一郎)、養魚、蛙、鼈、蜜蜂を加へて(荒木竹次郎)、地方稲田養蠶の發達に努力(橋本禎次郎)、模範的の造林經營(佐伯静)、収益確実な採造林(茶木助松)

# 昭和恐慌下の日本経済 全5巻

武田 晴人 編・解説

- |     |           |                  |                       |
|-----|-----------|------------------|-----------------------|
| 第1巻 | 世界恐慌      | 定価 22,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-797-1 |
| 第2巻 | 財界不況と対策   | 定価 19,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-798-8 |
| 第3巻 | 恐慌の諸相 (1) | 定価 15,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-799-5 |
| 第4巻 | 恐慌の諸相 (2) | 定価 19,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-800-8 |
| 第5巻 | 農村不況の実態   | 定価 20,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-801-5 |

A 5 判 / 上製クロス装 平成25年12月末日刊行

揃定価 95,000 円 (税別) ISBN978-4-87733-802-2 (セット) C 3333

## クレス出版好評既刊書

# 一五年戦争期 東アジア経済史資料 全7巻

広瀬 順皓 編・解題

- |     |               |                  |                       |
|-----|---------------|------------------|-----------------------|
| 第1巻 | 大東亜建設の基本綱領    | 定価 9,000 円 (税別)  | ISBN978-4-87733-766-7 |
| 第2巻 | 東亜経済政策        | 定価 10,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-767-4 |
| 第3巻 | 近代支那経済史       | 定価 9,000 円 (税別)  | ISBN978-4-87733-768-1 |
| 第4巻 | 奉天経済三十年史      | 定価 18,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-769-8 |
| 第5巻 | 台湾経済史研究       | 定価 10,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-770-4 |
| 第6巻 | 近代朝鮮経済史       | 定価 9,000 円 (税別)  | ISBN978-4-87733-771-1 |
| 第7巻 | 経済上より観たる 蘭領印度 | 定価 15,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-772-8 |

揃定価 80,000 円 (税別) ISBN978-4-87733-773-5 (セット)

# 戦前期領土問題資料集 全5巻

百瀬 孝 編・解題

- |     |                               |                  |                       |
|-----|-------------------------------|------------------|-----------------------|
| 第1巻 | 租界ニ於ケル行政組織並土地制度               | 定価 26,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-774-2 |
| 第2巻 | 満洲に於ける帝国の権利、日支交渉論             | 定価 14,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-775-9 |
| 第3巻 | 上海外国居留地行政概論、膠州湾ノ占領ト樺太ノ占領、千島概史 | 定価 18,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-776-6 |
| 第4巻 | 日韓合邦小史、大東島誌                   | 定価 16,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-777-3 |
| 第5巻 | 日本植民地統治論、植民地再分割問題、南洋に於ける帝国の権利 | 定価 16,000 円 (税別) | ISBN978-4-87733-778-0 |

揃定価 90,000 円 (税別) ISBN978-4-87733-779-7 (セット)